



日刊 国鉄千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

'96.2.22 No.4346

96春闘、国鉄闘争、安保・沖縄 闘争への総決起体制確立!

第35回定期委員会開催

二月二〇日、千葉市民会館において開催された第三五回定期労働委員会、勝浦運転区

廃止反対・一二月ダイ改阻止をかけた一・二八―一・二一七二時間ストライキをはじめとする諸闘争を総括し、「一〇年目」を前にしていよいよ正念場をむかえた解雇撤回・清算事業、大失業時代に抗して労働運動の真価のかかった九六春闘、再び闘いのときをむかえた安保・沖縄闘争、これらの闘いに総決起する方針を決定した。

布施副委員長の開会のことばで始まった定期委員会は、議長に館山支部・広瀬委員を選出した。本部を代表してあいさつにたった中野委員長は、今定期委員会で獲得すべきことについて提起した。(要旨別掲)

つづいて、第二二回定期大会以降の経過報告、当面する取り組み、暫定予算、協約・協定締結、共済適用について執行部より提起された。

質疑の中で出された主な意見・質問は、

「駅や売店からの再配転にもなう再教育、訓練について」

「基地の将来展望について」

「ロングラン仕業の中で、キチンとした食事時間の確保」
「休日勤務の呼出し問題、年

休のとれる要員の確保」

「ベアにおける貨物の格差について」

「社会党が社会民主党になるなど、今後の選挙について」

それぞれ本部から答弁がおこなわれ、委員会スローガン、方針、そして、破防法団体適用発動に反対する決議、安保・沖縄闘争に総決起する決議、委員会宣言が採択された。

最後に、関青年部長の組合歌合唱、委員長の団結ガンバロー三唱でしめくくり、委員会は成功裡のうちに終了した。

功裡のうちに終了した。



中野委員長あいさつ

(要旨)

「九六春闘について。動労千葉は、三万八千円の賃上げ要求をにかけて闘う。日経連のベア・ゼロ、定昇見直し、春闘解体攻撃―大失業時代という認識のもとに、春闘の再構築をわれわれが担っていく。」

「分割・民営化問題が最大の正念場を迎える、九六年国鉄闘争について、JR総連・革マルとの対決、打倒していくことを基軸に、①解雇撤回・清算事業 ②強制配転 ③動乗勤制度―

労働条件を改善させる闘い。これと結合して組織の強化・拡大をかちとる。」

「安保・沖縄問題。六〇年、七〇年につづく、大きな反戦・政治闘争の高揚へ、この沖縄問題に積極的にとりくむ。とくに三月三十一日の米軍用地の使用期限切れをめぐる闘いに、東京での集会とあわせて、沖縄反戦ツアーへ、カンパ闘争をとりくみ、動労千葉の代表団を派遣する。」

「いずれにしても、戦後五〇年つづけてきた支配の仕組みが大きく破綻している。簡単にいえば、資本主義体制が大きく崩壊する局面を迎えている。住専問題しかり、日経連報告、すべての問題がそうであるわけですから。結局は、この危機を打開するために労働者に犠牲を強いられること。そのときに、JR総連や連合のように、その体制を維持し、守っていくというのでは何一つの解決にもならない。労働者を食わせていけない体制などは、根本的に変革していく立場が求められている。やっぱり、われわれ労働者が社会の主人公になるという階級的労働運動をつらぬこう。」

「いずれにしても、戦後五〇年つづけてきた支配の仕組みが大きく破綻している。簡単にいえば、資本主義体制が大きく崩壊する局面を迎えている。住専問題しかり、日経連報告、すべての問題がそうであるわけですから。結局は、この危機を打開するために労働者に犠牲を強いられること。そのときに、JR総連や連合のように、その体制を維持し、守っていくというのでは何一つの解決にもならない。労働者を食わせていけない体制などは、根本的に変革していく立場が求められている。やっぱり、われわれ労働者が社会の主人公になるという階級的労働運動をつらぬこう。」

「いずれにしても、戦後五〇年つづけてきた支配の仕組みが大きく破綻している。簡単にいえば、資本主義体制が大きく崩壊する局面を迎えている。住専問題しかり、日経連報告、すべての問題がそうであるわけですから。結局は、この危機を打開するために労働者に犠牲を強いられること。そのときに、JR総連や連合のように、その体制を維持し、守っていくというのでは何一つの解決にもならない。労働者を食わせていけない体制などは、根本的に変革していく立場が求められている。やっぱり、われわれ労働者が社会の主人公になるという階級的労働運動をつらぬこう。」

「いずれにしても、戦後五〇年つづけてきた支配の仕組みが大きく破綻している。簡単にいえば、資本主義体制が大きく崩壊する局面を迎えている。住専問題しかり、日経連報告、すべての問題がそうであるわけですから。結局は、この危機を打開するために労働者に犠牲を強いられること。そのときに、JR総連や連合のように、その体制を維持し、守っていくというのでは何一つの解決にもならない。労働者を食わせていけない体制などは、根本的に変革していく立場が求められている。やっぱり、われわれ労働者が社会の主人公になるという階級的労働運動をつらぬこう。」

- ・破防法に反対する 二・二三集会
- ・二月23日18時
- ・東京・豊島公会堂
- ・九六春闘勝利
- ・動労千葉総決起集会
- ・三月15日18時
- ・千葉市民会館
- ・沖縄派遣団募集
- ・出発 3/29
- ・帰着 4/1